36. 4. 1　学則改正。生徒定員600名
4.15　５代校長神山和雄、個人で校舎の一部を北海道庁より借り受け、私立函館商業補習学校開設。夜間補習教育開始（定時制）
39. 1.12　函館区大字元町39番地函館中学校の旧校舎を引き継ぐ
4. 1　私立函館商業補習学校、道庁に移管。庁立函館商業補習学校となり、庁立函館商業学校に附設（定時制）
40. 8.25　函館大火のため校舎全焼。住吉尋常高等小学校旧校舎にて授業再開(10/7)
41.10.30　元町新校舎一部落成、移転（定時制）
43. 7.17　元町新校舎落成
大正 4.10.11　御大典記念として修養文庫設置
5.10.－　器械標本室第１棟増築落成
10. 4.14　大火による校舎・寄宿舎類焼。庁立函館商船学校及び弥生尋常高等小学校にて授業再開(4/28)

五稜ヶ丘時代（北海道庁立函館商業学校・北海道函館商業高等学校）

三度にわたる祝融により、本道唯一の明治期の商業教育に関する資料は灰燼に帰した。この苦難の歴史を経て、本校は巴港の東北約２キロの地点、幾何学的な美しさをもった特別史跡五稜郭の隣接地（五稜郭通り26・27番地）に移転した。五稜郭街道の松林の彼方に輝くマストカラーの新校舎がその後50余年にわたる函商第二の生地となった。

大正11. 7. 7　函館区大字亀田村五稜郭通りに新校舎および寄宿舎落成
7.23　第１学期終業式後、隊伍を組み新校舎へ移転
9.24　新校舎落成式挙行
12. 5. 3　校友会規則完成
10.15　宝尋常高等小学校内に移転（定時制）
15. 9.19　父兄会創立
昭和 3. 3.31　附設函館商業補習学校が廃止。函館商工実修学校として市に移管
4. 6　函館市立函館商工実修学校（商学部）が開設され、同校商業部に移管。函館工業学校内に併設（定時制）
4. 6.－　校歌制定
7. 1　**創立40周年記念式典挙行**。新校歌斉唱
5. 5.13　御大典記念商品陳列館落成、開館式挙行
9. 1　新川尋常高等小学校内に移転（定時制）
9. 3.21　市内大火のため校舎類焼。4/14弥生尋常高等小学校に移転（定時制）
10. 8. 1　函館市立商工青年学校（商業部）と改称（定時制）
11. 1.15　青柳尋常小学校内に移転（定時制）
14.10.22　第15回卒業生濱根岸太郎氏の寄付による濱根プール竣工
15. 1.28　武道場落成
6.27　濱根岸太郎氏の寄付による濱根記念館落成
16. 3.13　函館市立商業学校の設立認可を受け、函館市立商高青年学校商業部を移管（定時制）
3.27　函館市立中学校内に移転（定時制）
17. 3.16　庁立函館商業学校内に移転（定時制）
7.10　**創立55周年記念式典挙行**
20. 3. 5　火災による校舎前半分焼失
3.27　学則改正による第47回卒業生４年制をもって卒業
21. 4. 1　学則改正による５年制へ変更
7. 1　**創立60周年記念式典挙行**
22. 4. 1　新制中学校を併設
5.30　第１期校舎復旧工事竣工

